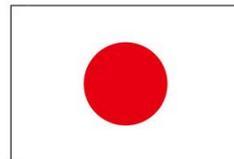




チェルノブイリへのかけはし
緊急拡散願い



ベラルーシ製の放射能測定器具の展示会
(ベラルーシのメーカーのメンバーによる展示・説明。販売はありません)
&

駐日本ベラルーシ共和国大使
セルゲイ・ラフマノフ閣下
(元ベラルーシ科学アカデミー副総裁)
「内部被ばく・小児甲状腺がんなど、日本の母親たちへのアドバイス」
(午前 11:00 からの予定です)

医療相談会を開催して 第一次ご報告～チェルノブイリ被災児童と比べて～
橋本百合香医師による解説 コーディネーター 野呂美加
(午後 1 時半からの予定です)

●とき: 2月22日 午前 10:00～午後 4:00 (参加費: 会場で救援募金集めます)

●ところ: 東京都渋谷区代々木 1-36-4 全理連ビル 9階 C 会議室

<http://www.riyo.or.jp/kaigi/kaigishitu.html> (JR山手線・総武線・都営地下鉄大江戸線「代々木駅」北口駅前)

USB メモリータイプの放射能測定器 (子供の首からさげておいて、今日行ったどこの数値が高かったかパソコンでみることができ)、土にかざすだけでベクレルがわかる測定器、など、チェルノブイリ 25 年間の間に進化したベラルーシの測定機械を展示します。ホールボティカウンター (当日は展示なし) はすでにどこかの企業が代理店になっているらしいが、他では買えないのかなど、何度話を聞いても、どこから買えるのかさっぱりわからない。直接あって見たり聞いたりしたほうがいい。母ちゃんたちの心配を少しでも解消したい。当日は販売はありません。

ベラルーシの大使のお話は、内部被ばくに対するベラルーシの考え方、そして小児甲状腺対策はどうしたらいいのか科学者としてのアドバイスをお聞きください。「ベラルーシ」は、どうやってチェルノブイリを乗り越えようとしているのか。たびたび保養運動も足止めがありましたが、でも、助けてくれる政治もありました。そのような意味で、私たちの活動の未来を知る手がかりになると思います。

(かけはしの見解と、すべて一致してないこともあると思います)

そして、橋本先生は、最初に名前を出して、新聞の取材に応じてくださった先生です。医師として、被災地を行脚されて、子供達の異変についてどのように感じているか。

大使の警告を受けて、さまざまな報告、そしてこれからどうやって子供達を守って行ったらいいか考えてみたいと思います。

http://www.kakehashi.or.jp/wp-content/uploads/All_Products.pdf

http://www.kakehashi.or.jp/wp-content/uploads/ATOMTEX_short.pdf (当日展示なし)

http://www.kakehashi.or.jp/wp-content/uploads/Chernobyl_enu.pdf

かけはし : <http://www.kakehashi.or.jp/>